

皆さまから寄せられた支援者の集いと新年のご挨拶をご紹介します。ありがとうございました。
これからも「三宅島の噴火長期被災」の再生・復興のため、今年もよろしくお願いいたします。

○三宅村村長 櫻田昭正様

「新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は当村で震度5強を記録した地震をはじめ、友島大島などに多くの被害をもたらした台風26号など、災い多き年でした。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて今年は、4月から全日空航空路線に替わり、新中央航空株式会社による調布飛行場ー三宅島空港間の航空路が開設される予定です。生活・観光の足として大いに期待をしております。また、7月には東海汽船株式会社の橋丸が就航予定です。三宅島方面への船旅がより一層快適に感じて頂けると思います。こういった今年の空・海路の動きは、観光を主幹産業とする当村にとっては、絶好のチャンスであり、観光資源の開発や情報発信など積極的に取り組んで参りたいと考えております。

一方、火山ガスの観測値が低下しつつあることから、昨年7月には居住や営業を規制してきた高濃度地区がなくなり、ガスマスクの常時携帯義務も取りやめることができました。三池、沖ヶ平地区には、未だ準居住地区として一部の規制が残っていますが、我らが三宅島の足枷となってきた火山ガス関係の規制が大幅に緩和できたことは、大変喜ばしいできごとでした。

私は、引き続き、「三宅島の空・海のように透明な村政」と「村民と村政が心を合わせた村づくり」を基本方針に、「ワレが笑顔で暮らす島」の実現を目指し、努力して参りますので、ご理解とご協力・ご支援を賜りますようお願いいたします。

今年一年が皆様方にとって、より幸多き年になりますよう祈念申し上げます。」

○都議会公明党幹事長 中嶋義雄様

「伊豆大島でも深刻な災害が発生しました。島しょ部の防災対策にさらに力を注ぎ、農水産業や観光など経済の振興策の強化にも取り組んでまいります。三宅島のさらなる復興を心から祈念しております。」

○都議会議員 斉藤あつし様

「あけましておめでとうございます。昨10月の台風では、同じ東京の島である大島が甚大な被害に会いました。東京都は三宅島、大島のこれまでの災害経験を次の「安全」につなげていく努力をこれからもして参ります。私共もしっかり取り組んで参ります。」

○危機管理勉強会塾長 斎藤寛様

「人口透析や三池地区での居住制限解除など、皆様の活動が目に見えた成果となってきています。益々のご発展を祈念しています。」

○向上高校校長 山田貴久様

「今年一年間お世話になりました。来年も新報をいっしょうけんめいつくります。」

○三宅高校元校長 松尾駿一様

「9月、日本応用心理学会 80 回大会のワークショップ「三宅島から福島へエール」において、佐藤会長とともに2000年噴火避難時の子どもたちの様子を報告してきました。皆さんによりしくお伝え下さい。」

○三宅高校元教師 青谷知己様

「先日、火山学会で三宅島の火山観光について紹介してきました。少しでも観光振興になるよう、三宅島の火山のすごさと魅力について発信していきたいと思います。福島への共感と支援、進めていきたいですね。シンポご苦労様でした。」

○共同通信元記者 赤池孝之様

「いつもお声を掛けていただき、ありがとうございます。頑張ってください。」

○文化放送防災キャスター 高橋民夫様

「新年あけましておめでとうございます。飛躍・跳躍の今年が、皆様にとってまた一歩前進の年になりますよう、お祈り致しております。三宅島、大好きです。」

○毎日新聞さいたま支局 木村健二様

「東京電力福島第一原発事故や大島の土石流災害を耳目に接する度に、三宅島のみなさんは元気に暮らしているのかが脳裏によぎります。どうかよいお年を。」

○NHK解説員室主幹 山崎登様

「仕事の都合で失礼します。これからもよろしくお願いします。」

○生活協同組合元役員 下山保様

「御活躍、心から敬意を表します。私は経産省前テント座り込み等脱原発運動にはまり込んでいます。14日もその関係でたてこみ、参加できず申し訳ありません。残った人生長くはありませんが、夫々の分野でやり抜きましょう。」

○前都議会議員 馬場裕子様からもメッセージを頂きました。

○ふるさとネット副会長 光安千久子様

「日頃より皆様にご協力いただき、三宅島も一步一步前向きに進み、偏に皆様のおかげだと思っています。ご支援頂き、ありがとうございます。これからも宜しく願いいたします。「三宅島支援者の集い」について、当方、お手伝いが出来れば良いのですが、如何せん高齢の為、今回は欠席とさせて頂きました。皆様の足手まといにならぬ様に、「あまり頑張らないよう、頑張るつもり」です。ゆっくりとくつろぎ、お楽しみください。」

○ネット世話人 吉田信行様

「何時もご連絡有難うございます。当日は所用につき欠席させて頂きます。ご盛会をお祈り申し上げます。」

○ネット元事務局長・世話人 増田(伊藤)奈穂子様

「新年あけましておめでとうございます。昨年、男の子を出産しまして、4ヶ月になります。まだ小さいので、今回は残念ながら欠席させて頂きます。イベントには、初年度から参加させて頂き、いつも三宅島で繋がっているたくさんの方々と楽しい時間を過ごし、温かい気持ちになります。今回も盛会でありますようお願いしています。また、世話人として微力ではありますが、本年もよろしくお願い致します。」

○ネット前事務局長 大石陽子様

「皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。私の方は、1才4ヶ月になった息子と公園に散歩に出かける毎日です。昨年の大島の台風被害もとても他人事とは思えず心配でした。今年も協力できることをやっていきたいと思っています。今年もよろしくお願いします。」

○ネット元世話人 長峰(原口)真澄様

「次女が産まれたばかりで出席できませんが、三宅島支援者の集いが盛大に行われますようお願い申し上げます。」

○ネット協力者 遠藤定雄様

「急用が入りましたので、今回は失礼します。新たな年に向けて、お元気で励まれますことを願っています。来年は是非島の様子を拝見にと考えています。(特に高校へ)」

(順不同)